

令和4年度第1回三重県国民健康保険運営協議会 概要

日時 令和5年2月6日（月）19時30分～20時20分

方法 オンライン形式（Zoom）

出席委員 10名

【被保険者代表委員】 濱口浩代、中村英子

【保険医等代表委員】 馬岡晋、稲本良則、増田直樹

【公益代表委員】 伊藤正明、長友薫輝、岩崎祐子

【被用者保険代表委員】 内藤誠、大西伸幸

1 議題

議題1 三重県国民健康保険事業の運営状況について

令和3年度の県国民健康保険事業特別会計の運営状況のほか、令和4年度の各市町の保険料（税）の設定状況、保険者努力支援制度の結果等について説明をしました。

（質問）

- ・ 特定健診の受診率が、令和3年度は令和2年度と比べて上昇していることや、一人あたり医療費の地域差については、どういった分析をしているか。

⇒（事務局）

- ・ 市町の努力によるものと認識しているが、細かい分析ができていないので、今後は、しっかり分析等を行っていく。一人あたり医療費の地域差が縮まっていることについては、後期高齢者医療制度に移行する直前の前期高齢者（医療費の負担が大きい）の占める割合が高くなっているため、これまで一人あたり医療費の低かった市町の医療費が上昇していることが原因ではないかと分析している。

（意見）

- ・ 特定健診の受診率については、目標にかなり近づいてきているが、特定保健指導の実施率については、目標から遠い状況なので、現状分析をして、実施率向上に向けて、取り組んでいただきたい。

議題2 令和5年度 国民健康保険事業費納付金について

各市町が県に納める令和5年度納付金の算定方法及び算定結果について説明し、原案に同意するとの答申を得ました。

（質問）

- ・ 当協議会設立時に、保険料水準の統一を目指していくということだったが、今のところ順調に進んでいるのか。

⇒（事務局）

- ・ 計画通りに進んでいる。運営方針に記載のとおり、令和5年度の納付金算定から医療費指数反映係数（ α ）は0としている。将来的には、県内のどの地域に住んでいても、所得水準と世帯構成が同じであれば保険料も同じになることを目指して、引き続き取り組んでいく。

その他 次期国民健康保険運営方針の策定について

次期国民健康保険運営方針の策定にかかる当協議会の開催スケジュール等について、説明しました。

（意見）

なし